

# 県北 はつらつ

発行 県北地域高齢者はつらつ百人委員会  
責任者 委員長 株木 幹人  
連絡先 0294-36-2937

県北百人委員会ホームページ  
<http://ibaraki100nin.jimdo.com>

検索

モットー 「楽しく・仲良く・和気あいあいと」

## 全体事業

### 第4回県北百人委員会グラウンドゴルフ交流会

7月18日(土)実施

場所：御前山ダム公園 参加者：83名(委員30名、一般53名)

県北地域高齢者はつらつ百人委員会は地域的に広範囲なため、「ひたち北」「久慈」「しおざい」と3ブロックに分かれて活動しております。

今回全体事業として、7月18日(土)御前山ダム公園グラウンドに於いて「第4回県北百人委員会グラウンドゴルフ交流会」を開催しました。参加者83名で過去最高の参加者で賑わいました。株木委員長の挨拶のあと実行委員長のルール説明と軽い準備体操を行い20組に分かれて、笛の合図で一斉にスタート。梅雨の合間で寒くも暑くもなく絶好のスポーツ日和。試合開始まもなく響き渡る歓声。早くもホールインワンの一打です。

ダムの近くに設置されたグラウンドは目の前に広がる一面の青い芝、広々とした会場は楽しい雰囲気一杯。のどかな緑一色の環境に気持ちよくプレーできて、順調な進行で予定時間に終了。閉会式では、優勝はじめ上位入賞者を全員でたたえ合い、ブロックの垣根を越えて一体感を高めた意義ある交流会でした。(高橋 記)



全員で準備体操



アレ…、ホールインワン…まさか。



表彰式の様子

### 第9回県北はつらつ芸能発表大会

10月14日(水)実施

場所：常陸太田市生涯学習センター 参加者：310名(出演者115名、他観客195名)

10月14日(水)、天気にも恵まれ、大久保常陸太田市長、茨城わくわく小林センター長、油井常陸大宮保健所長、西野県議会議員の来賓の皆様をお迎えして、常陸太田市生涯学習センターで開催いたしました。

今回で9回目となり、県北百人委員会の恒例事業として定着いたしました。これは、皆様のご協力と下支えがあつての賜です。ブロック単独の事業と違い、県北全委員の協力が必要な全体事業です。

今年も総勢310名の方々の参加があり、出演いただきました皆様に厚く御礼を申し上げます。(田村 記)



開会式では来賓の方々のご挨拶



楽しく発表される出演の皆さん



実行委員の皆さん

## ひたち北ブロック事業報告

**「予科練平和記念館・雪印メグミルク工場見学の旅」7月22日(水)実施****場所：稲敷郡阿見町 参加者：40名(委員18名、一般22名)**

眩しいほどに輝く陽を浴びて見学会を行いました。戦後70年という節目に見学した予科練平和会館は「戦争と平和」の問題を考えさせるものでありました。予科練に志願した優秀な人材を多く失ったことは、日本として大きな損失であったのではないかと心が痛む思いでした。

雪印メグミルク工場は、清潔で綺麗な食品工場で、ガラス越しに見学する工程の多くは自動化され、完全に無人化された工程もありました。見学前の映像を使つての案内説明では「オーッ」とか「へーっ」という声が出る内容があり、新しい知識を得ることができました。(大森 記)



参加者の皆さんで記念写真

**「バーベキューを楽しむ会」8月27日(木)実施****場所：たかはら自然塾 参加者：24名(委員21名、一般3名)**

夏の終盤に涼しい山里でバーベキューを楽しもうと企画しました。

当日は、雨を心配する天気でしたが、幸いにも曇りで暑くもなく寒くもない日でした。

6グループに分かれて早速火を熾し、盛大に肉やソーセージ、野菜を焼き始め、愛飲家にビールが入るや一段と賑やかになりました。最後は焼きそばで締め、グループ同士で焼きそばを交換し合つて味自慢に興じたりと、和気あいあいのひと時を過ごすことが出来ました。(蔵淵 記)



バーベキューを楽しむ参加者

**「会食」と「お楽しみ抽選会」9月17日(木)実施****場所：国民宿舎「鵜の岬」 参加者：26名(委員のみ)**

朝からの雨で予定のグラウンドゴルフを中止し、鵜の岬自慢の「みさき弁当」を頂く会食に変更しました。また、準備した豪華な賞品が無駄にならないようにと実行委員さんの機転で急きょ「お楽しみ抽選会」を実施することになりました。さて、抽選順をどうするか？美男・美女(自己申告)順にするか(笑い)、それとも体重順にするか(笑い)、結局無難な男女交替の年齢順に落ち着き抽選開始となりました。なかなか当たりが出ません。皆にわくわく感が広がります。ハズレの連続から遂に初めての当たりが出ました。ヤッター！大喜びの歓声が上がると同時に拍手が沸きあがりました。参加賞を含め全員に賞品が渡され笑顔あふれた楽しい抽選会となりました。(若林 記)



国民宿舎「鵜の岬」で食事を楽しむ

**「裏磐梯五色沼ハイキング」10月15日(木)実施****場所：福島県耶麻郡北塩原村 参加者：42名(委員20名、一般22名)**

当日は絶好の秋晴れに恵まれ、42名の善男善女は、高速道を経由して、紅葉真っ盛りの裏磐梯ビジターセンター前に降り立ちました。

準備体操後毘沙門沼を目指し、手前の広場で記念撮影に臨み、少し歩いて沼のはずれの高台で昼食。歩き出し、赤沼～みどろ沼～竜沼～弁天沼～瑠璃沼～青沼と紅葉を楽しみながら最後の柳沼を経て終点桧原湖畔に到着。全長3.6kmを参加者全員元気に歩き通しました。

休憩後、次の目的「磐梯山噴火記念館」、最近各地火山活動が活発なので、皆真剣に見学。その後、レークラインから沼尻母成峠にかけての紅葉を堪能しながら裏磐梯熱海ICより帰路につきました。(蔵淵 記)



磐梯山噴火記念館前

**「埼玉・川越散策バス旅行」11月18日(水)実施****場所：埼玉県川越市 参加者：40名(委員17名、一般23名)**

晴天に恵まれ、平日にもかかわらず沢山の混みの中、最初に向かったのは徳川家ゆかりの『喜多院』。家光誕生の間や春日局の化粧部屋など、歴史の一端に触れてから、境内にある五百羅漢のユーモアたっぷりの表情にしばし癒された後、お芋づくしのランチで空腹を満たし、いよいよ自由行動。名物の食べ歩きや路地裏の雰囲気のあるお店でお気に入りの品をゲットしたりして、アツという間に時間が過ぎて行きました。風情ある蔵作りの街並みにピッタリの着物姿を愛でながら、レトロ感溢れる小江戸川越散策をたっぷり楽しみ帰路につきました。(松本 記)



川越散策を楽しむ皆さん

## 久慈ブロック事業報告

## 「新日鐵住金鹿島製鉄所他」見学会 6月30日(火)実施

場所：茨城県鹿島市 参加人員：38名(委員14名、一般24名)

朝7時半に大型バスにて出発。多数の参加者でバス内は賑やかに。10時を少し回って新日鐵住金の工場ゲートに到着した。

当工場は、敷地約1000万平方mの巨大な世界最大級を誇る製鉄工場。敷地内の一角には赤錆色一色のパイプが林立するエリアがあり、まるでジェットコースターが折り重なって捨てられているように見えた。

見学コースは800m。現場作業員と同じようにヘルメットに軍手の安全装備をして、1600℃の溶鉱炉の傍を通過しての工場内の見学となった。その後、鹿島神宮、茨城空港へとコースをたどり無事に楽しい見学の旅を終えた。(福田 記)



「製鉄所」見学の皆さん

## 「ニュースポーツ“ユニカール”」地域交流大会参加 9月6日(日)実施

場所：常陸大宮市 参加者60名(委員12名、一般48名)

常陸大宮教育委員会、茨城ユニカール協会後援のもと、旧大場小学校体育館で市内や近郊の中高齢者約60名が参加して開かれました。ユニカールは床上のカーリングと呼ばれ、3人一組でストーンを滑らせて得点を競う競技で、男女関係なく楽しめる室内競技です。日頃の運動不足解消に汗を流しながら頑張り楽しい交流大会となりました。大宮地区では19年茨城国体、デモンストレーション参加に向けてユニカール愛好家も増えてきており、日々の練習に励んでいます。(河野 記)



ユニカールを楽しむ皆さん

## 「国会議事堂・NHKスタジオパーク他」見学会 10月6日(火)実施

場所：東京都 参加者40名(委員8名、一般32名)

この日は朝から快晴。見学地は国会、NHKスタジオパーク、浅草と知名度が高く、参加者は多く40名に及びました。

国会議事堂は本会議場の後方の観覧席から議員の座る椅子を眺め、NHKスタジオパークでは、ちょうど午後1時から生放送でまさに臨場を見ることができました。見学者の中にはテレビカメラに収まって全国に放映された方もいたとか・・・いずれにしても国会やスタジオの実際の現場を見ることが出来て今後のテレビ放送を違った視点から眺められるかと思いました。

東京までのバスの中約2時間は、おやつ片手に話を弾ませるにはちょうどいい時間のように賑やかでした。(福田 記)



国会議事堂前で記念撮影

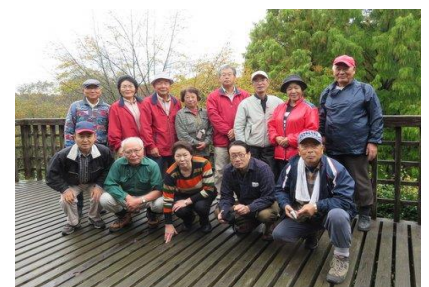
## 「晩秋の“県民の森”ウォーキング」 11月10日(火)実施

場所：那珂市 県民の森 参加者13名(委員12名、一般1名)

「古い同士、励まし合って、紅葉坂」

紅葉の赤が際立つ自然林の中を、野鳥の囀りに歓迎されながら、急がず、慌てず、無理せずを合言葉に3キロメートルのウォーキングを堪能しました。途中、松林帯では松くい虫による立ち枯れ、伐採の惨状に心を痛み、参加者からは異口同音に再生への願いが寄せられました。瀟洒な「森のカルチャー」で昼食・休憩した後、鳥獣センターを見学し、午後1時に散会しました。

生憎の雨で参加者は13名でした。色とりどりに染められた木々に心をときめかせ、森林の大切さを学ぶ等の自然の素晴らしさと恵みを満喫した楽しい時でした。(片岡 記)



自然の素晴らしさを満喫した参加者

## 「そば打ち体験教室」 12月3日(木)実施

場所：常陸太田市金砂郷 参加者18名(委員12名、一般6名)



秋の恒例行事のそば打ち体験教室を金砂郷交流施設「かなさ笑楽校」で行った。収穫したばかりの金砂郷特産“常陸秋そば”粉を使った。朝9時、全員が揃ったところで、施設長から説明を受け、5班に分かれてスタート。慣れぬ手つきで、粉を練ったり伸ばしたり、切ったりと、そばの形になったのは開始から約二時間後。今年は、けんちん汁の他、地元の野菜を使って天ぷらを揚げを添え物に。自分の打ったそばを試食してお腹も大満足し、貴重な体験でした。(海老根スエ 記)

☞熱心にそば打ちを学ぶ

## しおざいブロック事業報告

## 「尚仁沢湧水源流ウォーキング」 9月9日(水)実施

場所：栃木県塩谷町 参加者41名(委員10名、一般31名)

当日は大型バス1台の参加者41名で実施。台風の接近と秋雨前線の影響で雨になったが決行した。10時に遊歩道の入口を出発、都合よく霧雨程度になった。溪谷に入り吊り橋下の沢は濁流だったが、湧水からの流れは清流であった。

11時前に遊歩道入口に戻り、バスの待つハートランドまで歩いたが、このころには雨も上がり、東荒川ダム展望を眺めたりできた。ハートランドから

「城の湯温泉」へ行き入浴し昼食・休憩後、帰路につき17時前にひたちなか市に帰着した。(鴨志田 記)



湧水源流にたどり着いた参加者

## 「古峯神社・古峰園と日光輪王寺大猷院」施設見学会 10月20日(木)実施

場所：栃木県鹿沼市 参加者89名(委員15名、一般74名)

大型バス2台で出発。当日は曇り空でしたが、古峰園の紅葉は朱・赤・黄・橙・緑のモミジ、池の水面を染める紅葉・色とりどりの池の鯉全て最高でした。

古峯神社では、柱が一本もない288畳の御直会会場では、結婚報告の祈祷と巫女舞を見ることが出来る幸運がありました。

日光山内輪王寺は荘厳な造り、大猷院本殿・拝殿・相の間が連なる天井には、狩野派の合作と云う140もの竜があった。また、襖には狩野探幽作の見事な唐獅子がある中に、今回初めて400回忌に公開された家康公の位牌が置かれていて眺めることが出来ました。(皆川 記)



古峰園の紅葉を楽しむ皆さん

## 「グラウンドゴルフ大会 in ひたちなか」 11月5日(木)実施

場所：ひたちなか石川運動公園 参加者87名(委員17名、一般70名)

今回は、ことのほか初心者が多いうえ、女性が3分の2を占めていたため、受付段階から賑やかな大会になりました。運動ひろばいっぱい造られた3コースに18組が展開し、秋空の下、ホールインワンを連発する人、多叩きをする人など様々でしたが、みなさん和気あいあいとプレーに興じられました。24ホールを回った後、成績集計の合間に一発ホールインワン競技を実施、その後表彰を行い、「楽しかったわ」「また、開催してください」の声に疲れも忘れるほどでした。

(渡辺 記)



実行委員の面々

## 「月居山・袋田の滝ハイキング」 11月17日(火)実施

場所：久慈郡大子町 参加者28名(委員13名、一般15名)

ひたちなか市を出発して予定通り袋田町駐車場に到着。準備体操後、駐車場から歩き始めて七曲り登山口から登山開始。うす暗い林道から落ち葉を踏みしめて観音堂へ到着。ここで月居山頂上組と観音堂周辺の散策組に分かれた。頂上組では紅葉が良く見惚れ眼福。観音堂散策組では、釣鐘堂の鐘撞きや景観を楽しんだ。そして前山頂上に全員で行き昼食。その後、袋田の滝までの長い下り階段を周囲の紅葉や途中生瀬の滝を眺めながら降りた。帰路では「関所の湯」の露天風呂を楽しみ疲労回復させた。(鈴木 記)



袋田の滝をバックにパチリ

## 「グリコピア工場と忍城・おもてなし甲冑隊」見学会 11月26日(火)実施

場所：埼玉県北本市 参加者45名(委員9名、一般36名)

昨夜から雨だったが午後からは止むとの予報を信じひたちなか市を定刻通り出発。埼玉県北本市のグリコ工場を目指した。昼食を済まして工場に到着。案内係に、「ポッキーやプリッツ」の製造ラインを案内され帰りは全員ポッキーのお土産を頂いた。さすが見学重視の工場だけあって建物も内部も綺麗。その後お隣、行田市の現在博物館となっている忍城とおもてなし甲冑隊の演舞を見学し帰途についた。少ない時間ではあったが、全員満足の旅でした。(熊谷 記)



甲冑隊の皆さんと記念撮影

**編集後記：**第44号は本年の6月末～12月始めに行われた事業の報告です。時宜も良く3ブロックでは多くの事業活動が行われ、各実行委員長から豊富な記事原稿が寄せられました。その内容を出来る限り崩さないようにしながら文章の縮減に努力をしなければならなかったのは辛かったです。(広報班長 永田)